

1：映画業界のバリアフリー対応とTV放送への転用

NPOメディア・アクセス・サポートセンター
理事 事務局長 川野浩二

従来の映画鑑賞方式

鑑賞方法	日本語字幕	音声ガイド
対象	聴覚障害者、高齢者など	視覚障害者など
2016年度邦画対応数	81本/610本公開のうち（12%）	7本/610本公開のうち（1%）
現状の鑑賞方式	スクリーンに字幕を表示	手動同期、FMラジオで受信
現状の問題点	回が限定（対応劇場でも2～3日のみ）	回が限定（全国6～9回のみ）

新システムUDCastによる映画鑑賞方式

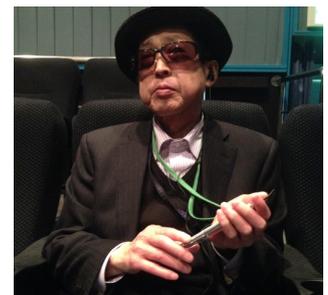
鑑賞方法	日本語字幕	音声ガイド
アプリの利用	UDCast（音声電子透かし・フィンガープリント技術を搭載） ※マスターに手を加えない	
鑑賞方式	メガネ型端末を装着して鑑賞	スマホ、iPodtouchで鑑賞
メリット	対応作品であれば、いつどの回でも、全国どの劇場でも、利用可能。 （多言語対応可）	
課題	機器の更なる開発と普及	

フィンガープリントを使った同期とは？

映画本編の音声を全編解析したデータを作成することで、スピーカーから再生される音声のみで字幕や音声ガイド等を同期させる。音声があるシーンであれば途中同期可能。無音では同期不可。

UDCastとは？

映画や映像作品の音声から同期情報を得ることで、スマートフォンやタブレット端末を使って、様々な言語をバリアフリー化させるアプリケーションサービスです。



映画製作時に作成された、バリアフリー字幕と音声ガイドは、MASCのサーバーで管理、配信されており、TV放送でも利用できる。

2：UDトークを使ったリアルタイム字幕の可能性

UDトークは、コミュニケーションの『UD=ユニバーサルデザイン』を支援するためのアプリです。



ディープラーニング技術を使用したクラウド型音声認識サーバーを経由して、音声文字にします。

1対1の会話から、多人数のミーティング・会議・講義など様々なコミュニケーションに活用することができます。また、議事録作成等にもお役に立ていただけます。

iPhone, iPad, Androidスマートフォンを使い音声認識をします。

QRコードを発行・読み取ることで、他デバイスと画面を共有できます。

また、PCと連携して認識結果をリアルタイムに編集したり、スマートグラスで話している人の顔を見ながら字幕を見することもできます。

講演会場などでは、ヒアリング・ループや音響設備とつなぎ、音声を入力できます。

*接続用インターフェイスが必要です



ひらがな変換で世代間コミュニケーション

- ・お子さまとのコミュニケーション
- ・初等教育の学習レベルに応じたよみ表記



ウェアラブルデバイスとの連携

- ・さまざまなイベントへの参加（観劇サポート）
- ・メガネ・時計型デバイスへのディスプレイ表示



音声認識と音声合成でバリアフリーコミュニケーション

- ・耳が不自由な方と目が不自由な方とのコミュニケーション
- ・キーボードや筆談でも可能



多言語翻訳と音声認識でグローバルコミュニケーション

- ・外国の方とのコミュニケーション
- ・双方向にリアルタイム多言語翻訳と音声認識を実装

リアルタイム字幕を実演

【UDトークのインストール】

スマホアプリ検索：UDトーク

UDトークの「トークに参加する」でこのバーコードを読むと、当日の字幕が表示されます

